

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

■科目基本情報

| | | | |
|----------|------------------|-------|----------------|
| 科目名 | アフレコⅡ | 科目コード | 9430 |
| シラバスコード | 196D5E-9430 | | |
| 授業時数/週 | 4時間 | | |
| 開講年次・学期 | 2年次・通期 | | |
| 必修/選択区分 | 必修 | | |
| 担当教員 | 大橋正幸 | | |
| 教員の実務経験 | 実務経験のある教員による授業科目 | | |
| 職業実践専門課程 | 企業等と連携した実習・演習 | 連携企業等 | 一般社団法人日本朗読検定協会 |
| 備考 | | | |

■科目詳細情報

| | |
|-----------|---|
| 授業概要 | アニメや映画の吹き替えを通して、声の演技の楽しさ難しさを徹底して追求する応用科目。他学科や外部とのコラボレーション作品も手掛け、様々な現場に対応する力をつける。 |
| 到達目標（前期） | ①「ゲーム」「アニメーション」「外国映画（ドラマ）」等 音声による演技表現の応用全般 |
| 到達目標（後期） | ②メンタル・スキル・マナー 三位一体 ③マイクワーク等 収録ロケーションの応用～実践（能動・和合） |
| 授業方法 | 実習、演習、視聴、グループ学習 |
| 実践的教育の内容 | 担当教員（大橋）：大学で演劇を専攻～卒業TDLエンターテインメント部を経て、イベント事業監修～プロ劇団所属。後に芸能事務所に在籍し、VP/ナレーション/ドラマ/WEBアニメ等の現場と学校法人勤務を15年継続、声優/芸能等の業界経験を積み現在に至る。●理論～実践の両面から、多角的に指導を施し 初級～応用へと着実にステップアップを図る。（※テキストは現場仕様～オリジナル迄 多岐に亘る） |
| 評価方法（前期） | ①科目別出席率：50% ②期末「実技査定」各項目（発声/滑舌/調音/テンポ/表現力）各10点の合計点：50% 以上 ・①+②＝成績評点 |
| 評価方法（後期） | （前期）に同じ |
| 授業外における学修 | 毎週末（金曜日）実技演習の課外補講を実施し、4半期に1回「合同品評会」等を催す等 ●検討段階 前期授業終了後に「朗読検定」対策講義有 ●企業連携授業、学内「前期末試験」期間中に「検定」受験（全員）予定 |
| 授業計画（前期） | <ul style="list-style-type: none"> 第1週 <ul style="list-style-type: none"> ・CMボイス 研究『西松屋（コンテ/ワードシート）』 ・キャラクターボイスの理解と実践（音域/音圧の微調整） 第2週 <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（Ⅰ）「劇場アニメーション『BLEACH～もうひとつの水輪丸～』part2」シーン作り ・「アクション」×「アンサンブル」の両立と融合。（第1回目） 第3週 <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（Ⅰ）「劇場アニメーション『BLEACH～もうひとつの水輪丸～』part1」シーン作り ・「アクション」×「アンサンブル」の両立と融合。（第2回目） 第4週 <ul style="list-style-type: none"> ・OPナレーション 研究「TVアニメーション『機動戦士ガンダム00』」 ・基礎課程の振り返り/Na収録の難易度理解（セルフコントロール/整音） 第5週 <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（Ⅱ）「TVアニメーション『機動戦士ガンダム00』part2」シーン作り ・「シリアス」×「ウィスパーボイス」の両立と融合。（第1回目） 第6週 <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（Ⅱ）「TVアニメーション『機動戦士ガンダム00』part1」シーン作り ・「シリアス」×「ウィスパーボイス」の両立と融合。（第2回目） 第7週 <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（Ⅲ）「TVアニメーション『銀魂』part1」シーン作り ・「コメディ」×「アドリブ」の両立と融合。（第1回目） 第8週 <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（Ⅲ）「TVアニメーション『銀魂』part2」シーン作り ・「コメディ」×「アドリブ」の両立と融合。（第2回目） 第9週 <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（Ⅳ）「TVアニメーション『新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～』part1」シーン作り ・「OFFの演技」を研究する。（第1回目） 第10週 <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（Ⅳ）「TVアニメーション『新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～』part2」シーン作り ・「OFFの演技」を研究する。（第2回目） 第11週 <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（Ⅴ）「TVアニメーション『鋼の錬金術師』part1」シーン作り ・「アクション」×「HEROパーソナリティ」の両立と融合。（第1回目） 第12週 <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（Ⅴ）「TVアニメーション『鋼の錬金術師』part2」シーン作り ・「アクション」×「HEROパーソナリティ」の両立と融合。（第2回目） 第13週 <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（Ⅵ）「TVアニメーション『涼宮ハルヒの憂鬱』part1」シーン作り ・「コメディ」×「アドリブ」の両立と融合。（第1回目） 第14週 <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（Ⅵ）「TVアニメーション『涼宮ハルヒの憂鬱』part2」シーン作り ・「コメディ」×「アドリブ」の両立と融合。（第2回目） 第15週 <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（Ⅶ）「外国映画『LA LA LAND』part1」吹替シュミレーション ・母国語（英語等）のボイスオーバー/男女間の会話表現（第1回目） 第16週 <ul style="list-style-type: none"> ・台本研修（Ⅶ）「外国映画『LA LA LAND』part2」吹替シュミレーション ・母国語（英語等）のボイスオーバー/男女間の会話表現（第2回目） 第17週 <ul style="list-style-type: none"> ・前期「実技査定」（発声/滑舌/調音/テンポ/表現力） ●全員で聴取～採点 ・自他の評価に対応する聴力/各指導内容の理解力等を養う/インストラクター研修を兼ねる（第1回目） |

| | | |
|----------|---|---|
| 授業計画（後期） | 第18週 | ・台本研修（Ⅶ）「劇場アニメーション『君の名は』Part1」シーン作り（会話研究①） ・「静寂」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第1回目） |
| | 第19週 | ・台本研修（Ⅶ）「劇場アニメーション『君の名は』Part2」シーン作り（会話研究①） ・「静寂」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第2回目） |
| | 第20週 | ・台本研修（Ⅶ）「劇場アニメーション『君の名は』Part3」シーン作り（会話研究①） ・「静寂」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第3回目） |
| | 第21週 | ・台本研修（Ⅶ）「劇場アニメーション『君の名は』Part4」シーン作り（会話研究①） ・「静寂」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第4回目） |
| | 第22週 | ・台本研修（Ⅸ）「劇場アニメーション『バケモノの子』Part1」シーン作り（会話研究②） ・「静×動」「シリアス」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第1回目） |
| | 第23週 | ・台本研修（Ⅸ）「劇場アニメーション『バケモノの子』Part1」シーン作り（会話研究②） ・「静×動」「シリアス」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第2回目） |
| | 第24週 | ・台本研修（Ⅸ）「劇場アニメーション『バケモノの子』Part1」シーン作り（会話研究②） ・「静×動」「シリアス」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第3回目） |
| | 第25週 | ・台本研修（Ⅸ）「劇場アニメーション『バケモノの子』Part1」シーン作り（会話研究②） ・「静×動」「シリアス」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第4回目） |
| | 第26週 | ・台本研修（Ⅹ）「劇場アニメーション『サマーウォーズ』Part1」シーン作り（会話研究③） ・「静×動」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第1回目） |
| | 第27週 | ・台本研修（Ⅹ）「劇場アニメーション『サマーウォーズ』Part1」シーン作り（会話研究③） ・「静×動」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第2回目） |
| | 第28週 | ・台本研修（Ⅹ）「劇場アニメーション『サマーウォーズ』Part1」シーン作り（会話研究③） ・「静×動」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第3回目） |
| | 第29週 | ・台本研修（Ⅹ）「劇場アニメーション『サマーウォーズ』Part1」シーン作り（会話研究③） ・「静×動」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第4回目） |
| | 第30週 | ・台本研修（完結）「劇場アニメーション『この世界の片隅に』Part1」シーン作り（総合研究） ・「テーマ理解」「リアルなアクティング」等の演技的本質を追求する。（第1回目） |
| | 第31週 | ・台本研修（完結）「劇場アニメーション『この世界の片隅に』Part2」シーン作り（総合研究） ・「テーマ理解」「リアルなアクティング」等の演技的本質を追求する。（第2回目） |
| 第32週 | ・台本研修（完結）「劇場アニメーション『この世界の片隅に』Part3」シーン作り（総合研究） ・「テーマ理解」「リアルなアクティング」等の演技的本質を追求する。（第3回目） | |
| 第33週 | ・台本研修（完結）「劇場アニメーション『この世界の片隅に』Part4」シーン作り（総合研究） ・「テーマ理解」「リアルなアクティング」等の演技的本質を追求する。（第4回目） | |
| 第34週 | ・後期「実技査定」（発声/滑舌/調音/テンポ/表現力）●全員で聴取～採点 ・自他の評価に対応する聴力/各指導内容の理解力等を養う/インストラクター研修を兼ねる（第2回目） | |
| 教科書・教材 | ・上記アニメーション/映画作品に基き 担当教員がテキスト化したもの（※都度配布～回収） | |
| 参考文献・資料 | ・「日本語発音アクセント 新辞典」NHK出版社 | |
| 履修上の留意点 | 教員の主観に依存せず、自発的/能動的に学び、研究する事。●1年次より 更に指導性習得を意識する事。 | |